

議会だより

2019年 6 月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会広報特別委員会編集



広報とよころ
▽新たな議会構成を決定
議会だより
社協だより
役場だより

議長に藤田博規議員 副議長に中村純也議員を選出

新たな議会構成を決定

任期満了に伴う改選後初めての議会が5月13日に開催されました。
議長・副議長の選挙、各委員会委員の選出等が行われ、新たな体制で豊頃町議会が
スタートしました。



町の発展と豊かなまちづくりへ

議長 藤田博規

新緑の候、町民の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙により議長の重責をお受けすることとなりました。私にとりまして、誠に光栄の至りであり、私に託された責任の重さを痛感しているところであります。もとより、浅学非才ではありますが、

誠意を尽くして事に当たり、公平を旨とし議会の円滑な運営を図り、町民の負託に答えるべく執行部と共に豊頃町の発展と豊かなまちづくりに最善の努力をいたす所存であります。
町民の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



町民と共に考え行動を

副議長 中村純也

向書の候、町民の皆様には、ご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙により副議長に選任していただきました。私にとつては、大変身に余る光栄であり、また、身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、議長の命を受け

議会を円滑に進めるとともに、町が抱える諸問題に対し町民と共に考え、町民と共に行動し、豊頃町発展のために努力してまいりたいと思っております。
町民皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



豊頃町民から選ばれた9人で

議会を構成しました

より充実したまちづくりのため

委員会などで活躍します

議会運営委員会

- ・委員長 大崎 英樹
- ・副委員長 岩井 明
- ・委員 坂口 尚示
- ・委員 小笠原茂人

議会運営委員会は、議会の日程調整や請願・陳情の取扱い及び議会に関わる諸規則を調査研究するなど、議会の運営に関する一切の事項を協議します。

総務文教常任委員会

- ・委員長 小笠原茂人
- ・副委員長 石田 貢
- ・委員 大崎 英樹
- ・委員 杉野 好行
- ・委員 岩井 明

総務文教常任委員会は、税財政や出納、町有財産、交通防災、企画、学校教育、社会教育、選挙管理委員会、公平委員、監査委員に関する事務などの案件を審査し、あわせてそれらに必要な調査研究を行います。

産業厚生常任委員会

- ・委員長 坂口 尚示
- ・副委員長 岩井 明
- ・委員 中村 純也
- ・委員 大谷 友則
- ・委員 石田 貢

産業厚生常任委員会は、農林水産業や商工業、観光、土木及び建築、上下水道、保健衛生、国民健康保険や介護保険、その他民生安定に関する事務などの案件を審査し、あわせてそれらに必要な調査研究を行います。

※なお、議長はその職責上、どの委員会にも出席する権限があるほか、可否同数の際における採決権など議長固有の権限を考慮し、一つの委員会に属することは好ましくないとされているため、藤田博規議長は、議会の議決により総務文教常任委員会委員及び産業厚生常任委員会委員を辞任しています。

議会広報特別委員会

- ・委員長 大谷 友則
- ・副委員長 杉野 好行
- ・委員 岩井 明
- ・委員 石田 貢

議会広報特別委員会は、議会の内容を広く町民に知っていただくため設置した委員会です。年4回議会だよりを発行し、あわせてそれに必要な調査研究を行います。

監査委員

- ・監査委員 石田 貢

監査委員のうち議員の中から選任される委員について町長から提案があり、これに同意しました。

一部事務組合議会議員

- ▽とがち広域消防事務組合 議会議員 藤田 博規
- ▽十勝圏複合事務組合 議会議員 藤田 博規

事務の処理や施設を合理的に運営するため、他の市町村と共同で行うために設ける組織を一部事務組合といいます。本町が加盟する2つの一部事務組合の議会議員を選出しました。

広報とよこ

議会だより

社協だより

役場だより

当初予算

60億円の新年度予算を可決

第1回定例会は、3月5日から開会され、令和元年度（平成31年度）当初予算をはじめ、条例の一部改正、平成30年度補正予算など、町長から提案された22議案をいずれも原案どおり可決し、12日に一般質問等を行って閉会しました。

令和元年度（平成31年度）一般会計予算は43億6千800万円で、対前年度比1.3パーセントの減、特別会計を合わせた7会計総額では、60億3千292万円で、対前年度比1.5パーセントの減となっております。

歳入では、町税は町民税で近年の事業所得の伸び、固定資産税で新築住宅や事業系償却資産の伸びから前年対比1千475万円増の4億9千717万円、普通交付税は前年対比約70万円減の19億1千207万円、臨時財政対策債は前年度同額の1億円を見込んでいます。また、繰入金は、豊頃愛生協会職員住宅建設補助金や庁内LANシステム端末機の更新のための財源として前年対比8千400万円増を見込むとともに、財源不足に充てるため、財政調整基金から前年度同額の2億2千万円の繰り入れを計上しています。

歳出の主な事業はページ下段から掲載しています。

令和元年度各会計当初予算

（単位：万円）

会計名	令和元年度	平成30年度	比較	伸び率	
一般会計	43億6,800	44億2,500	▲5,700	▲1.3%	
特別会計	国民健康保険特別会計	5億7,240	5億7,496	▲256	▲0.4%
	介護保険特別会計	3億7,615	3億8,022	▲407	▲1.1%
	後期高齢者医療特別会計	6,116	6,043	73	1.2%
	医療施設特別会計	1億1,943	1億2,569	▲626	▲5.0%
	簡易水道特別会計	3億0,112	2億9,182	930	3.2%
	公共下水道特別会計	2億3,466	2億6,621	▲3,155	▲11.9%
	小計	16億6,492	16億9,933	▲3,441	▲2.0%
合計	60億3,292	61億2,433	▲9,141	▲1.5%	

農林水産業の振興

当初予算の主なもの

緊急農地基盤整備事業
補助 1千488万円

道営農地整備事業負担金
5千616万円
農業基盤となる暗渠排水整備

町有林造林事業
2千118万円
森林保全につながる新植、間伐など

大津漁港漁船減災対策
事業補助 1千50万円
上架漁船用船台の強化更新

社会基盤の整備

茂岩高台地区情報通信
基盤整備 716万円

茂岩高台地区に光通信網を整
備

町道の整備・橋りよう

補修 4億110万円

幌岡第3幹線、統内16線の整
備、橋の補修

公営住宅の整備

2千210万円

パートナータウン個別改善工
事ほか

水道施設更新事業

9千482万円

配水管の布設替工事
(簡易水道特別会計)

下水道施設更新事業

4千200万円

下水処理施設の設備更新工事
(公共下水道特別会計)

福祉の充実

次世代育成支援金支給

事業 1千870万円

出産祝金や子どもを育てる保
護者への支援金を支給

福祉タクシー乗車券交付

事業 428万円

高齢者世帯にタクシー乗車券
を交付

乳幼児等医療費助成事業

840万円

本町独自に高校生までの医療
費を無料化

豊頃愛生協会施設整備

補助 6千300万円

職員住宅の新築と改修への補
助

妊娠・出産包括支援事業

234万円

妊娠から出産、子育て期まで
切れ目のない支援の実施

商工業・観光の振興

プレミアム付特別商品券

発行事業

1千670万円

20%のプレミアム率を上乗せし
た商品券発行事業へ補助

ジュエリーアイズPR

推進事業 300万円

休憩所・トイレ等の借上げ

教育の振興

高等学校等就学助成

815万円

高校生等の保護者に就学助成
金を交付

子どもの夢づくり事業

交付金 30万円

各学校において子どもの夢を
育む独自の発想・立案による事
業展開を支援

地域の活性化

地域商社運営支援補助

431万円

互産互生拡大プロジェクト
補助 201万円

プロジェクト推進コーデ
ィネット、地場産品物産販売拡大
業務への補助

※表示の金額は、1万円未満を四捨
五入しています。

広報とよこら

議会だより

社協だより

役場だより



平成30年度
補正
予算

会計名	補正額	総額
一般会計(第7号)	1千700万円	46億3千816万円
一般会計(第8号)	1千895万円	46億5千711万円
国民健康保険特別会計(第4号)	▲3千231万円	5億4千794万円
介護保険特別会計(第3号)	▲213万円	3億8千761万円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	86万円	6千129万円
医療施設特別会計(第2号)	▲1千994万円	1億668万円
簡易水道特別会計(第3号)	▲758万円	2億8千129万円
公共下水道特別会計(第3号)	▲2千456万円	2億4千235万円

※専決処分とは、議会を開く時間的余裕がないときなど、議会にかわって町長が処分(決定)すること。
※繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用できる経費のこと。
※表示の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

このほか、予算額の精査による減額

道営農地整備事業
(繰越明許費)
6千210万円
北海道が進める農地の区画整理・暗渠排水等の整備に対する負担金

大雪による除雪費
(専決処分)
3千313万円
降雪回数の増加による除雪費の追加(一般会計補正第7号・第8号)

補正予算の主なもの

▼豊頃町課設置条例の一部改正
行政サービスの向上を図るため、地籍に関する業務を住民課から施設課に移管する改正。
▼豊頃町職員の勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正
働き方改革に伴う関係法令等の改正に伴い、時間外勤務に関する事項を規則で定めるとする改正。
▼豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正
現在の家賃状況や管内市町村の情勢等を考慮し、住居手当の支給対象を町内居住者とし、支給額を変更する改正。

▼豊頃町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴い、災害援護資金の貸付条件を市町村の判断で規定できるとなったことから、貸付利率を無利子とし、償還方法に月賦償還を加える等の改正。
▼豊頃町消防団条例の一部改正
消防団員が、各種災害や訓練等のため出勤するときの費用弁償を変更する改正。
▼豊頃町議会委員会条例の一部改正
豊頃町課設置条例の改正に伴い、常任委員会が所管する課係の規定を変更するため議員発議により改正。

平成30年度補正予算
◎ 六崎安樹議員 豊頃医院の診療報酬収入の減額理由と、今後、医療体制の充実を語る考えは。
A 診療報酬収入は、過去の実績に基づき予算計上しており、今年度決算は前年度と同額程度を見込んでいる。医療体制については、院長が帯広の開西病院及

主な審議内容



び十勝いけだ地域医療センターとの連携により充実を図っており、今後も院長と十分連絡を取りながら進めていきたい。

条例の制定及び改正

○ 穴崎英樹議員 空家等対策の推進に関する条例において、空家の周辺にある廃棄物など条例の適用範囲の考えは。

○ 空家及びその敷地内の物置、工作物等を含めて条例の適用対象とすることと考えている。

○ 穴崎英樹議員 消防団条例の改正において、消防団員の費用弁償を変更する理由は。

○ 消防団員の処遇改善として、東十勝4町の消防団長からの統一意見として改正するため。今後、更なる改善ができるよう検討していきたい。

令和元年度当初予算

○ 穴谷友則議員 町有林皆伐事業において、伐採する木は何年生か。また、今後の皆伐の周期は。

○ 48年生から59年生の町有林を皆伐しており、今後も同様の周期で皆伐を進める予定である。

○ 小笠原茂人議員 豊頃町交流協議会補助金の増額理由は。

○ 姉妹都市であるサマールランド市から親善訪問団の来町が予定され、それに関わる交流事業を実施するため。



前回のサマールランド市訪問団来町時

○ 小笠原茂人議員 豊頃町総合プロモーション推進協議会補助金の減額理由は。

○ 平成30年度まで実施してきた移住体験モニターツアーに変わり、大学等との連携事業を行うため。

○ 穴谷友則議員 十勝ロイヤルホテルの改修における町とホテル経営者との費用負担の区分けは。

○ 平成27年度に改修したとき

は、ホテル経営者の意向により自己負担により改修した。小破修繕は経営者の負担としているが、今回は大規模な補修のため経営者と協議し町の負担で行うこととしている。

○ 穴崎英樹議員 町とホテル経営者との費用負担は契約等により明確にすべきでは。

○ 町内唯一の宿泊施設であるホテルの経営は厳しい状況と聞いており、ある程度の線引きはしながら、経営者との協議により改修を進めていきたい。



十勝ロイヤルホテル

○ 坂口尚示議員 有害鳥獣対策において、電気柵設置への補助の検討状況は。

○ 豊頃町農業協同組合等と協議を行っている。町、農協及び受益者それぞれが負担しての事業実施について検討するが、電気柵を整備しても鹿の駆除は必要と考えており、効果的な有害鳥獣対策を検討していきたい。

○ 穴谷友則議員 秋サケ漁の不漁が続く漁業の振興策は。

○ 大津漁業協同組合や浦幌町と協議しながら、支援策を検討していきたい。

○ 穴谷友則議員 子どもの夢づくり事業の目的と内容は。

○ 例えば、国際大会に出場したスポーツ選手や社会的に活躍する卒業生等を学校に招き、これまでの経緯や努力、苦勞を伝えること等により、児童生徒が夢を持てることを目的とする新規事業。

○ 岩井明議員 10月から消費税率が引上げとなるが、学校給食費は据え置かれるのか。

○ 4月からの給食費は現行のままであるが、今後、学校給食センター運営委員会を開催し、情勢を精査しながら検討していきたい。

広報とよこる

議会だより

▼主な審議内容

社協だより

役場だより



一般質問



岩井 明 議員

国民健康保険税の 軽減策は

国民健康保険事業に必要な財源を確保できるよつ条例で定めている。町独自の軽減策を行った場合、一般会計からの繰り入れによる対応が必要なため、法律が改正されない限り軽減はできないと考えている。

Q 国民健康保険税には、子どもを含む加入者数に応じて賦課する均等割がある。子どもの均等割は子育て支援に逆行しており、軽減策等が必要では。
A 宮口町長 基本的な賦課方法は、地方税法に基づき行っており、税率は、本町の国民健康保険事業に必要な財源を確保できるよつ条例で定めている。町独自の軽減策を行った場合、一般会計からの繰り入れによる対応が必要なため、法律が改正されない限り軽減はできないと考えている。

限り軽減はできないと考えている。

Q 収入がなくても負担を生じる均等割や平等割を見直す考えは。
A 宮口町長 収入の少ない世帯では、最大7割減免する制度となっている。一般会計からの繰り入れは、国民健康保険に加入していない方の税金を回すこととなり不公平感が生じる。また、町独自の軽減制度を創設すると、国からの交付金削減などが予想される。

基準に基づき課税することにも、納税が難しい世帯に対しては、納税相談を行っていく。
Q 国保加入者の税負担を軽減するため、財政支援を国や道に求めるべきでは。
A 宮口町長 国保税の負担に市町村間で不公平がある場合には、国等に訴えていきたいと考えている。

国民健康保険税の算定は、次の4項目の合計額による。所得割く加入者の所得金額により算定
資産割く加入者の固定資産税額により算定
均等割く加入者の人数によ

り算定
平等割く加入世帯により算定



小笠原茂人 議員

地方創生事業における 人材確保は

材確保を目指したい。

Q 事業推進に重要な中核的人材の確保と活用は。
A 宮口町長 地域おこし協力隊制度を活用し、地方創生事業を担う人材として、地域おこし協力隊の募集中であるが、任用目的や待遇を見直すなど、町外からの人材確保を目指したい。

Q 地方創生事業を担う人材が退職し、影響が懸念されるが。
A 宮口町長 地方創生の要は定住促進と考えているが、本町は転入者が転出者の人数を上回る状況にある。今後、も外から人を呼び込み、町の活性化につなげていきたい。

り算定
平等割く加入世帯により算定

Q 地方創生・互産互生の次世代を担う人材育成への考えは。
A 宮口町長 地方創生では、平成28年度から「豊頃団志」を核に人材育成を行っている。今後は、大学等との連携によりゼミや実習の受入れ、大学生と地元青年との交流を通じてまちづくりへの提案を受けるなどの取組みを進めたい。

互産互生では、静岡県掛川市をはじめとする連携市町村等との事業拡大を考えている。事業を担う地域商社では、専門的知識のある外部人材を職員としているが、さらに必要となれば人材を確保していきたい。

教育課題への対応は

Q 小中学生の携帯電話、スマートフォンの所有率は。
A 山本教育長 国の通知により、学校への携帯電話、スマートフォンの持ち込みは原則禁止となっており、所有率を調査したことはない。

Q 先日、文部科学大臣は持ち込みを原則禁止した通知の見直しを検討すると発表したが、見直しとなった場合の対応は。



報徳のおしえを盛り込んだ
「報徳子どもカルタ」

Q 豊寿大学に科目を創設し、新しい「報徳子どもカルタ」を子どもたちとともに制作しては。
A 山本教育長
今後、文学科の受講生と相談していきたい。

Q 豊寿大学入学者の高年齢化が悩みの種と聞くが。
A 山本教育長
若い入学者の減少は、社会福祉協議会や町福祉課の主催事業等の多様な学習の場があることや、入学対象の60歳を超えても働く方が多いことによると考えている。

A 山本教育長
国の見直しの内容、学校やPTAとの協議、十勝管内他町村の状況などを踏まえ対応を検討したい。

広報とよこ

議会だより

社協だより

役場だより

意見書

▷ 地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

総務文教常任委員会にて審議した意見書案が、常任委員会委員長である中村純也議員から提案説明され、原案のとおり可決し、関係省庁に提出されました。



提案説明する中村純也議員

全国町村議会議長会 自治功労者表彰

2月6日開催された全国町村議会議長会第70回定期総会において、藤田博規議長と大谷友則副議長が自治功労者表彰を受賞しました。
藤田博規議長は、町議会議員として平成15年から15年以上にわたり、また大谷友則副議長は、平成3年から27年以上にわたり地域の振興発展に寄与されたことから贈られたもので、3月12日、第1回定例会3日目の冒頭、表彰状が伝達されました。



受賞した藤田博規議長（右）と
大谷友則副議長（左）

北海道町村議会議長会 創立70周年記念表彰

2月25日開催された北海道町村議会議長会創立70周年記念式典において、小野木英毅前議長が表彰されました。



受賞した小野木英毅前議長（右）

小野木英毅前議長は、北海道町村議会議長会理事として平成23年から4年間にわたり会の運営に寄与されたことから贈られたもので、3月12日、藤田博規議長が自宅を訪問し、表彰状を伝達しました。



第1回臨時会（5月13日）

- ▼議長、副議長選挙及び議会構成
▼監査委員の選任
- ▼一部事務組合議会議員の選挙
前ページに掲載のとおり。

▼専決処分の承認

- ・平成30年度一般会計補正予算
(第9号)

省力化につながる農業用機械を導入する組織への補助事業である畑作構造転換事業について、国からの交付金の確定に伴う補助金の追加等として、2千169万円を歳入歳出に追加し、予算総額を46億7千880万円とする補正予算を専決。原案のとおり承認。

- ・平成30年度一般会計補正予算
(第10号)

国からの各種交付金の額の確定等に伴い、110万円を歳入歳出に追加し、予算総額を46億7千990万円とする補正予算を専決。原案のとおり承認。

▼豊頃町税条例等の一部改正

国の税制改正に伴い、個人町民税の住宅ローン控除の適用期間延長、軽自動車税の税率の軽減措置の拡大、ふるさと納税制度の見直し等を改正。原案のとおり可決。

▼豊頃町国民健康保険条例の一部改正

国の税制改正に伴い、国民健康保険税のうち医療給付費分の課税限度額を58万円から61万円にするとともに、税額の軽減措置判定所得の範囲を拡大する改正。原案のとおり可決。

▼物品の取得

庁舎内等で使用するパソコン150台を購入する契約。金額は2千255万円。原案のとおり可決。

※ 会議の詳細は会議録で ※

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)

議会日誌

〔2月〕

18日 議員全員協議会

22日 十勝町村議会議長会定例会
↳ 帯広市

25日 北海道町村議会議長会創立
70周年記念式典 ↳ 札幌市

28日 議会運営委員会
一部事務組合議会定例会
↳ 帯広市

〔3月〕

5日 第1回定例会（1日目）
(条例改正、補正予算等)
議員全員協議会
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会

8日 第1回定例会（2日目）
(令和元年度予算)

12日 第1回定例会（3日目）
(一般質問、意見書、その他)

〔4月〕

16日 豊頃町議会議員選挙告示
22日 豊頃町議会議員当選証書付
与式

〔5月〕

13日 第1回臨時会

(議長・副議長選挙、監査委員の選任、その他)

議員全員協議会

総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

議会広報特別委員会

15日 十勝町村議会議長会定例会
↳ 帯広市

◎今後の予定

〔6月〕

5日 議会運営委員会

10日 第2回定例会（1日目）
(補正予算、その他)

11日 北海道町村議会議長会定期
総会 ↳ 札幌市

20日 第2回定例会（2日目）
(一般質問ほか)

25日 北海道町村議会議長会主催
議員研修会 ↳ 札幌市

※日程は変更になる場合があります。